

第9回 生物リズム研究会
プログラム・抄録集

平成4年9月25日（金）・26日（土）

日本都市センター（東京）

第9回 生物リズム研究会の御案内

期日：平成4年

9月25日（金）

12:00～13:30 生物リズム研究会運営委員会

13:30～16:45 生物リズム研究会・臨床時間生物学研究会・合同シンポジウム

17:30～ 同上・合同懇親会

9月26日（土）

09:00～16:50 一般口演

13:00～13:30 報告・連絡事項

（注）第7回臨床時間生物学研究会が前日から同じ会場で行われます。

9月24日（木） 09:00～18:20 一般口演

9月25日（金） 09:00～12:00 一般口演

臨床時間生物学研究会の会員でなくとも参加できます。ご参考までにプログラムを同封しました。

会場：日本都市センター

東京都千代田区平河町 2-4-1

電話：03-3265-8211

参加費：9月26日だけの参加 …… 2000円

9月25、26両日、あるいは

24、25、26日の全日参加 …… 3000円

懇親会費： …… 5000円

参加費・懇親会費は当日受付で納入してください。

一般口演の要領：

演題1題につき発表10分、討論5分とします。スライドは口演30分前までにスライド受付係にお渡しください。スライドプロジェクターは1台だけ用意します。

座長は各セッション内での時間厳守をお願い致します。

第9回 生物リズム研究会担当幹事 高橋康郎

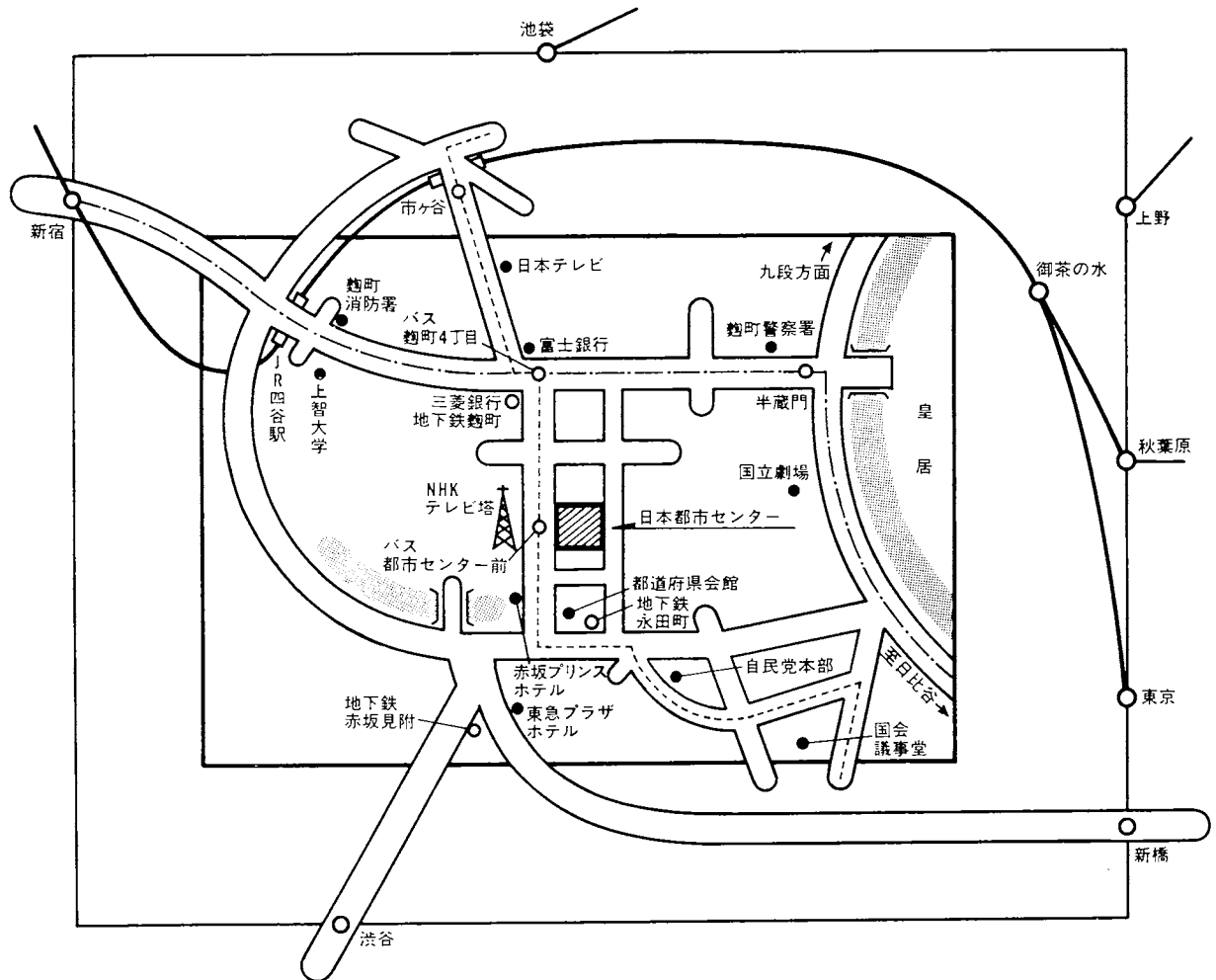
〒183 東京都府中市武蔵台 2-6

東京都神経科学総合研究所 心理学研究部門

電話：0423-25-3881 （内）4309

Fax：0423-21-8678

日本都市センターご案内図



【交通のご案内】

地下鉄

- 有楽町線 麹町駅・永田町駅より徒歩約3分
- 丸の内線・銀座線 赤坂見附駅より徒歩約6分
- 半蔵門線 永田町駅より徒歩約3分

JR線

- 中央線 四谷駅(麹町口)より徒歩約12分

バス

- 都バス(新橋↔大久保)
平河町二丁目、都市センター前
- 都バス(新宿↔銀座)
麹町四丁目下車徒歩約3分

第9回 生物リズム研究会プログラム

9月25日(金) 13:30~16:45 (第2講堂)

生物リズム研究会・臨床時間生物学会・合同シンポジウム
「生物リズムと光」

司会：高橋清久、本間研一

- S-1) 後藤麻木¹、西尾深雪、吉村崇、長谷川稔、海老原史樹文(名古屋大学・農学部・水産¹
・家畜生理)
概日リズムの光受容に関する視細胞・視物質 - 桿体細胞欠損マウスを用いた実験 -
- S-2) 大石 正、佐々木基子(奈良女子大学・理学部)
ウズラ眼内サーカディアンリズム：視物質, メラトニン・角膜上皮細胞分裂リズム
- S-3) 柴田重信、浜田俊幸、富永恵子、渡辺繁紀(九州大学・薬学部・薬理)
ラット網膜視床下部路の伝達物質：培養神経組織を用いた薬物位相反応曲線による解析
- S-4) 本間さと(北海道大学・医学部・生理学・第一講座)
ラット網膜視床下部路の機能的分化
- S-5) 大川匡子(国立精神神経センター・精神保健研究所)
痴呆老年者の睡眠障害に対する光療法の試み
- S-6) 遠藤拓郎、佐々木三男(慈恵医大・精神医学教室)
季節性感情障害に対する光療法の試み

17:30~ 合同懇親会(地下食堂)

一般口演 (第6・7会議室)

9月26日(土)

09:00~09:05 開会の挨拶

担当幹事 高橋康郎

09:05~10:05 セッション(1)

座長 白川修一郎

- 1) 生後6カ月間におけるヒト乳児睡眠覚醒リズムの発達-第7週および第12週における非連続的变化について-
福田一彦¹、石原金由²(福島大学・教育学部・教育心理¹、ノートルダム清心女子大学・家政学部・児童学科²)

2) 日本人の季節による気分および行動の変化

小栗貢^{1,2}、白川修一郎²、内山真²、大川匡子²、香坂雅子³、三島和夫⁴、井上寛⁵、亀井健二⁶、高橋清久⁷、(東邦大・理¹、国立精神神経センター・精神保健研究所²、北海道大学・医・精神³、秋田大学・医・精神⁴、国立療養所鳥取病院⁵、鹿児島大学・医・精神⁶、国立精神神経センター・武蔵病院⁷)

3) ヒトの日常生活における直腸温日内変動と心拍数日内変動の相関関係

小山恵美、山本智咲子、萩原啓(松下電工(株)中央研究所)

4) 睡眠ステージを考慮した統合的サーカディアンシステムモデル

市川剛、中尾光之、水谷好成、山本光璋(東北大学・工学部・情報工学科・生体情報工学講座)

10:05~10:50 セッション(2)

座長 海老原史樹文

5) マウスの概日リズム機構に及ぼすビタミンB12投与の影響

海老原史樹文、後藤麻木¹、真野尚美(名古屋大学農学部・家畜生理・水産学¹)

6) Li含有の飲水が概日リズムに対する影響

磯部芳明、周西任(名古屋市立大学・医学部・第二生理)

7) ラット線条体におけるモノアミン及びドパミン受容体の日内変動

山田尚登、M.T.Martin-Iverson¹、高橋三郎(滋賀医科大学・精神科神経科、Dept of Psychiat, Univ of Alberta¹)

10:50~11:00 休憩

11:00~12:00 セッション(3)

座長 柴田重信

8) ゴールデンハムスターにおけるサーカディアンリズムの給餌スケジュールへの同調と給餌予知活動

阿部博、B.Rusak¹(京都大学霊長類研究所、Dalhousie University¹)

9) 制限給餌によるラットの予知行動-老化、NMDA受容体拮抗薬の影響

柴田重信、皆本義基、越智まゆみ、渡辺繁紀(九州大・薬学部・薬理)

10) 老齡ラットの自発行動量フリーランリズムの検討

大屋栄一、高橋由希子、佐々木文彦、宮保進(福井医科大学・第3内科)

11) スナネズミの車回し運動活性と飲水行動の概日リズムの特徴(2)

梅津豊司(国立環境研・地域環境研究)

12:00~13:00 昼食

13:00~13:30 報告・連絡事項

事務局 中島秀明

13:30~14:15 セッション(4)

座長 篠原一之

- 12) 初代培養ラット視交叉上核細胞のバソプレッシン分泌リズム
渡辺和人、山岡貞夫(獨協医大・第一生理)
- 13) ラット視交叉上核におけるコルチコトロピン放出因子(CRF)の日内変動
広町紀子、富永恵子、大鳥安正、井上慎一(三菱化成生命科学研究所)
- 14) ニューロペプチド-Yによって視交叉上核へ送られる光情報とそれを制御するNMDA型興奮性アミノ酸受容体
篠原一之^{1,2}、富永恵子¹、福原千秋¹、大鳥安正¹、井上慎一¹(三菱化成生命科学研究所・脳神経高次機能¹、東海大学・医学部・薬理学教室²)

14:15~15:00 セッション(5)

座長 本間さと

- 15) メラトニンリズムに対する光の二重効果: *in vivo* マイクロダイアリシス法のラット松果体への適用
兼松伸枝、本間さと、勝野由美子、本間研一(北海道大学・医学部・第一生理学講座)
- 16) 眼球からの光刺激がハト松果体メラトニン放出に及ぼす影響
長谷川稔、海老原史樹文(名古屋大学・農・家畜生理学教室)
- 17) ニワトリの培養松果体細胞のメラトニン概日リズムにおけるRNA転写阻害剤(5,6-dichloro-1- β -D-riboseylbenzimidazole;DRB)の効果
大井健¹、J.S.Takahashi²、高橋三郎¹(滋賀医科大学・精神科¹、Dept. of Neurology and Physiology, Northwestern University²)

15:00~15:15 休憩

15:15~16:15 セッション(6)

座長 秋山貞

- 18) ツシマウミユスリカの野外での羽化リズム
秋山貞¹、三枝誠行²(岡山大・理・臨海¹、教養・自然系²)
- 19) アオオサムシ成虫の歩行活動リズムに見られる内因的な位相の反転と同調パターンについて
山崎晋、佐々木正己(玉川大・農・昆虫)
- 20) ヌタウナギの遊泳活動における概日リズムについて
大岡貞子、門田哲夫¹、樺沢洋²(跡見学園短期大学、横浜市大・医・解剖¹、京急油壺マリンパーク²)
- 21) 遺伝子導入によるらん藻の生物発光リズム-時計の分子機構解明のプラットフォーム
近藤孝男、石浦正寛(基礎生物学研究所)

16:15～16:45 セッション(7)

座長 長谷川健治

22) 細胞間相互作用による生物時計時間周期の調節

長谷川健治、島本昌和¹、田中館明博²、塚原保夫³(北里大学・医学部・生物物理、精神科学¹、ME²、仙台フォトダイナミクス³)

23) 神経回路モデルによる生物リズムの制御

遠藤秀治、木内陽介¹(福岡教育大学、徳島大学工学部¹)

16:45～16:50 閉会の挨拶

担当幹事 高橋康郎